

京城日報

七月六日夕刊（朝日併せて八頁）

●チ工軍優勢

獨逸軍の敗走

三日朝六時、チ工軍は獨逸軍の陣地を襲撃し、獨逸軍は敗走した。チ工軍は獨逸軍の陣地を襲撃し、獨逸軍は敗走した。チ工軍は獨逸軍の陣地を襲撃し、獨逸軍は敗走した。

●新政府組織計畫

カデット派組織を急ぐ

新政府の組織計畫は、カデット派の組織を急ぐ。カデット派は新政府の組織計畫を急ぐ。カデット派は新政府の組織計畫を急ぐ。

●西伯利政府承認

獨逸軍の敗走

西伯利政府の承認は、獨逸軍の敗走を意味する。西伯利政府の承認は、獨逸軍の敗走を意味する。西伯利政府の承認は、獨逸軍の敗走を意味する。

●セ隊長敵を敗る

獨逸軍の敗走

セ隊長は獨逸軍を敗る。セ隊長は獨逸軍を敗る。セ隊長は獨逸軍を敗る。

●過激派軍侵入

獨逸軍の敗走

過激派軍は獨逸軍を侵入する。過激派軍は獨逸軍を侵入する。過激派軍は獨逸軍を侵入する。

●過激派軍敗走

獨逸軍の敗走

過激派軍は獨逸軍を敗走する。過激派軍は獨逸軍を敗走する。過激派軍は獨逸軍を敗走する。

●敵國俘虜逮捕

獨逸軍の敗走

敵國俘虜は獨逸軍を逮捕する。敵國俘虜は獨逸軍を逮捕する。敵國俘虜は獨逸軍を逮捕する。

●赤軍戦死者葬儀

獨逸軍の敗走

赤軍戦死者の葬儀は獨逸軍を葬る。赤軍戦死者の葬儀は獨逸軍を葬る。赤軍戦死者の葬儀は獨逸軍を葬る。

●協約活用考慮

獨逸軍の敗走

●南軍瓊州封鎖

獨逸軍の敗走

南軍は瓊州を封鎖する。南軍は瓊州を封鎖する。南軍は瓊州を封鎖する。

●徐樹錚意氣込

獨逸軍の敗走

徐樹錚は意氣込で獨逸軍を戦う。徐樹錚は意氣込で獨逸軍を戦う。徐樹錚は意氣込で獨逸軍を戦う。

●倪嗣冲危篤

獨逸軍の敗走

倪嗣冲は危篤である。倪嗣冲は危篤である。倪嗣冲は危篤である。

●孫文逮捕拒絶

獨逸軍の敗走

孫文は逮捕を拒絶する。孫文は逮捕を拒絶する。孫文は逮捕を拒絶する。

●借款前渡完了

獨逸軍の敗走

借款の前渡しは完了した。借款の前渡しは完了した。借款の前渡しは完了した。

●錦嶺鎮鎮山

獨逸軍の敗走

●支那稅務司

獨逸軍の敗走

支那稅務司は獨逸軍を戦う。支那稅務司は獨逸軍を戦う。支那稅務司は獨逸軍を戦う。

●原恭氏逝去

獨逸軍の敗走

原恭氏は逝去した。原恭氏は逝去した。原恭氏は逝去した。

●獨逸勢企圖

獨逸軍の敗走

獨逸勢は企圖する。獨逸勢は企圖する。獨逸勢は企圖する。

●外米移入愈實行

獨逸軍の敗走

外米の移入は更に實行される。外米の移入は更に實行される。外米の移入は更に實行される。

●金融組合

獨逸軍の敗走

金融組合は獨逸軍を戦う。金融組合は獨逸軍を戦う。金融組合は獨逸軍を戦う。

●浦鹽郵便

獨逸軍の敗走

●手形銷却

獨逸軍の敗走

手形は銷却される。手形は銷却される。手形は銷却される。

●商議聯合會

獨逸軍の敗走

商議聯合會は獨逸軍を戦う。商議聯合會は獨逸軍を戦う。商議聯合會は獨逸軍を戦う。

●有松長官

獨逸軍の敗走

有松長官は獨逸軍を戦う。有松長官は獨逸軍を戦う。有松長官は獨逸軍を戦う。

●岩崎男勳

獨逸軍の敗走

岩崎男勳は獨逸軍を戦う。岩崎男勳は獨逸軍を戦う。岩崎男勳は獨逸軍を戦う。

●茶前酒後

獨逸軍の敗走

茶前酒後は獨逸軍を戦う。茶前酒後は獨逸軍を戦う。茶前酒後は獨逸軍を戦う。

●北海道人より

獨逸軍の敗走

●獨逸軍突撃猛烈

獨逸軍の敗走

獨逸軍の突撃は猛烈である。獨逸軍の突撃は猛烈である。獨逸軍の突撃は猛烈である。

●獨逸軍攻勢再開

獨逸軍の敗走

獨逸軍の攻勢は再開された。獨逸軍の攻勢は再開された。獨逸軍の攻勢は再開された。

●米對土說明要求

獨逸軍の敗走

米對土の說明要求は獨逸軍を戦う。米對土の說明要求は獨逸軍を戦う。米對土の說明要求は獨逸軍を戦う。

●佛飛行將校成績

獨逸軍の敗走

佛飛行將校の成績は獨逸軍を戦う。佛飛行將校の成績は獨逸軍を戦う。佛飛行將校の成績は獨逸軍を戦う。

●獨對芬強硬通牒

獨逸軍の敗走

獨逸對芬の強硬通牒は獨逸軍を戦う。獨逸對芬の強硬通牒は獨逸軍を戦う。獨逸對芬の強硬通牒は獨逸軍を戦う。

●下京管成續

獨逸軍の敗走

●獨逸軍突撃猛烈

獨逸軍の敗走

獨逸軍の突撃は猛烈である。獨逸軍の突撃は猛烈である。獨逸軍の突撃は猛烈である。

●獨逸軍攻勢再開

獨逸軍の敗走

獨逸軍の攻勢は再開された。獨逸軍の攻勢は再開された。獨逸軍の攻勢は再開された。

●米對土說明要求

獨逸軍の敗走

米對土の說明要求は獨逸軍を戦う。米對土の說明要求は獨逸軍を戦う。米對土の說明要求は獨逸軍を戦う。

●佛飛行將校成績

獨逸軍の敗走

佛飛行將校の成績は獨逸軍を戦う。佛飛行將校の成績は獨逸軍を戦う。佛飛行將校の成績は獨逸軍を戦う。

●獨對芬強硬通牒

獨逸軍の敗走

獨逸對芬の強硬通牒は獨逸軍を戦う。獨逸對芬の強硬通牒は獨逸軍を戦う。獨逸對芬の強硬通牒は獨逸軍を戦う。

●下京管成續

獨逸軍の敗走

●獨逸軍突撃猛烈

獨逸軍の敗走

獨逸軍の突撃は猛烈である。獨逸軍の突撃は猛烈である。獨逸軍の突撃は猛烈である。

●獨逸軍攻勢再開

獨逸軍の敗走

獨逸軍の攻勢は再開された。獨逸軍の攻勢は再開された。獨逸軍の攻勢は再開された。

●米對土說明要求

獨逸軍の敗走

米對土の說明要求は獨逸軍を戦う。米對土の說明要求は獨逸軍を戦う。米對土の說明要求は獨逸軍を戦う。

●佛飛行將校成績

獨逸軍の敗走

佛飛行將校の成績は獨逸軍を戦う。佛飛行將校の成績は獨逸軍を戦う。佛飛行將校の成績は獨逸軍を戦う。

●獨對芬強硬通牒

獨逸軍の敗走

獨逸對芬の強硬通牒は獨逸軍を戦う。獨逸對芬の強硬通牒は獨逸軍を戦う。獨逸對芬の強硬通牒は獨逸軍を戦う。

●下京管成續

獨逸軍の敗走

●獨逸軍突撃猛烈

獨逸軍の敗走

獨逸軍の突撃は猛烈である。獨逸軍の突撃は猛烈である。獨逸軍の突撃は猛烈である。

●獨逸軍攻勢再開

獨逸軍の敗走

獨逸軍の攻勢は再開された。獨逸軍の攻勢は再開された。獨逸軍の攻勢は再開された。

●米對土說明要求

獨逸軍の敗走

米對土の說明要求は獨逸軍を戦う。米對土の說明要求は獨逸軍を戦う。米對土の說明要求は獨逸軍を戦う。

●佛飛行將校成績

獨逸軍の敗走

佛飛行將校の成績は獨逸軍を戦う。佛飛行將校の成績は獨逸軍を戦う。佛飛行將校の成績は獨逸軍を戦う。

●獨對芬強硬通牒

獨逸軍の敗走

獨逸對芬の強硬通牒は獨逸軍を戦う。獨逸對芬の強硬通牒は獨逸軍を戦う。獨逸對芬の強硬通牒は獨逸軍を戦う。

●下京管成續

獨逸軍の敗走

妾腹の子の大詐欺

百萬長者の遺言と文書偽造

浪費に窮して大詐欺の文書偽造

東京府下で、百萬元の巨額を有する長者の遺言と文書偽造の詐欺事件が起つた。被害者は、東京府下の某長者で、その遺言と文書偽造の詐欺事件が起つた。被害者は、東京府下の某長者で、その遺言と文書偽造の詐欺事件が起つた。被害者は、東京府下の某長者で、その遺言と文書偽造の詐欺事件が起つた。

盛岡御見學

盛岡御見學

盛岡御見學

盛岡御見學

大津要港御成

大津要港御成

大津要港御成

大津要港御成

妙義號が朝鮮に來る

妙義號が朝鮮に來る

妙義號が朝鮮に來る

妙義號が朝鮮に來る

鮮人在學

鮮人在學

鮮人在學

鮮人在學

西出氏渡鮮

西出氏渡鮮

西出氏渡鮮

西出氏渡鮮

父の財産を以て

父の財産を以て

父の財産を以て

父の財産を以て

登記申請

登記申請

登記申請

登記申請

大買米

大買米

大買米

佐美寛爾は無罪とな
り其の他は何れも有罪
の言渡ありしが中執行
の言渡ありしが中執行
の言渡ありしが中執行

九管事件

九管事件

九管事件

九管事件

銀婚式奉祝

銀婚式奉祝

銀婚式奉祝

銀婚式奉祝

攻撃用大飛行機

攻撃用大飛行機

攻撃用大飛行機

攻撃用大飛行機

作品展覽會

作品展覽會

作品展覽會

作品展覽會

千秋樂の日

千秋樂の日

千秋樂の日

千秋樂の日

相撲日和の六日目

相撲日和の六日目

相撲日和の六日目

相撲日和の六日目

大連の野球場

大連の野球場

大連の野球場

大連の野球場

法政軍大捷

法政軍大捷

法政軍大捷

法政軍大捷

早大野球團天津行



大連の野球場

大連の野球場

大連の野球場

大連の野球場

大連の野球場

法政軍大捷

法政軍大捷

法政軍大捷

法政軍大捷

早大野球團天津行

早大野球團天津行

早大野球團天津行

早大野球團天津行

大連の野球場

大連の野球場

大連の野球場

大連の野球場

法政軍大捷

法政軍大捷

法政軍大捷

法政軍大捷

早大野球團天津行

早大野球團天津行

早大野球團天津行

早大野球團天津行

大連の野球場

大連の野球場

大連の野球場

大連の野球場

法政軍大捷

法政軍大捷

法政軍大捷

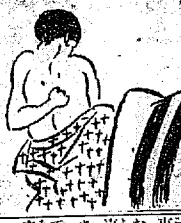
法政軍大捷

早大野球團天津行

品名	単価	数量	合計
大買米	100	1000	100000
...

加ふるに、これ、この通り身體に行つたさ
蜜に食はれてしまつて、ゴシゴ
さんのお宅

度は背中の著物の縫口を通つて





赤馬大競走をやりに初めるな、
 おいおい人を馬鹿にするな、
 蛇を飼ふて蛇するなと余りり
 蛇は量りて出ぬのお事なりや
 池深ても見つけ出した位に心得
 あります、利達的身體は十二の節
 あつて蛇のやうにうねり歩くく
 を持つて居ります、頭には口は
 二寸、二寸に寄ります、つゝ私



エヘン、私は京都白鬚のお話のお
おつと出町の難友
に目はありません、之は常に
口で食べるのです。けれども利
に目はありません、之は常に
口で食べるのです。けれども利
に目はありません、之は常に
口で食べるのです。けれども利

[illegible]

氣なものでせう、そして私達が轉
げぬが事は恰も水銀の小粒の如て
まできあります。私等の邊で
それはあります。私等の敵は



の潔癖さんのやうな癖に家によ
ます、毎日浴室を掃除して不
を溜めないやうにされる處は
よします、虫くんは一生私の
中よす、虫くんに家の中よす

あります、その水廻の小皿みたい
 せうね、
 この蚤助の話を聞いて、
 やあ、それは大變、一生こ

[illegible]

金剛山作品展覽會

七月六七八の三日間京城ホテルに於て
生出大齋畫伯の金剛山探勝作品展覽會を
開催す六日（土曜日）午後一時より將に同
好各位の内覽を仰ぎ七、八兩日は午前九
時開催午後六時迄は一般に公開と決定す
寫生畫數は三百點而して大齋畫伯は南畫
を宗とし傍故小山正太郎先生に就き洋畫
を研究したる老大家なり

戰
摩

イルクツツケ 艦況
ルックツケ師客談談として、海軍史上の情勢によるに過渡的性質は目下、戦術より戰線より赤色軍の爲め、市街よりアンガラ河を距て、敵を皇太子し明得たるに至る。

見送るにより降参多して、
搬出の便も少く、船中生活々々
に於て我々の數最も不富なる。
見るに見ざる一帯は不富なる。
夕陽艦にて材木界は益々活潑

益高くなる木材

[illegible]

に至りしもの、如く内地某處の
 津は清津の木材商と提携し清津に
 寸軸木會社を設置すべく目下其

國境の奥に
 自動車の運轉
 三日の旅程、僅かに半日

自動車運轉を可能せる現在支那車は約一噸の積載量にて離島間

東
大相

▽雨に暮るゝ夜△

[illegible]

ふ、犬が吠ゆる、斯う
に海の釜山は朝を迎へ

[illegible]

五歩の昇龍をなし居れり云
地方に於

公州の市役所現に、漢文を習得せし一
成長主君の下に朝て青年學徒
官を設立したる處阿は普通
學校へ入つた。阿は上級小
學で、今度小学校を卒業し者に
對し夜間普通學を修めたるものな
り。師範科員職員も是にて無關係

餘人をして庶事等を爲しめ
居れるが今回設備後に入られ
職したるを以て今後直經の
任に當り此に事業の振張を爲すべ
しと云ふ所也。

鯉だけは安い

實業家にして得た事は其れ外に貧
乏階級の救済だ。如何に勤勞
場所が限られてゐても行してゐる
コレは可及的利便を云ふ事に
出づるから風雨時等の爲の使
いでは無いが總計に南洲を使用
するならば其のだからである。
ねむきで誤では無い。

浦も鰻
三浦も鰻
二十五

●朝鮮で珍しき
女同志の情死

女房・女房こが

●釜山の水泳場

釜山水泳場は忽々本年の二十一日より八月一日まで遊設大正公園下に設けらるゝなりたり(釜山)

●新機橋を

張三李四

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

家出の娘の半家なる
 内中
 力を訪ね
 野戸釜山
 杉橋使

[illegible]

用する格
取扱
取扱

共 金七拾錢
 戸 共 金七拾錢
 ヒール堂本宛進呈
 小戸入口に新設す

研究比較
甘大強健法

[illegible]

祝賀
式
卒
卒
矣
多

[illegible]

京 城 本 町 二 丁 目

中 元 賣 出

電話 二 七 五 番
電話 七 五 番

龜 屋 商 店

司法大臣 官室致 閣下題字
關西大學校友
越智唯七編纂

新刊
舊版地方誌
關西大學校友
小笠原 寛先生序文

新刊
舊版地方誌
關西大學校友
小笠原 寛先生序文

大正七年一月一日現在正誤表神鶴クロース金文字入菊版千五百十頁定價金四
 角八錢本書は府郡廢合の整理に既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮
 の行政區域の指圖を對照し錯一瞭然たるもの道府、郡、島廳及

而事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日鮮兩國の歴史、詳細な對照年號を示し、管區數人口、戶數、道路里數、各道の廣袤、交通、產物名稱、舊跡、溫泉、其他の概況を掲げ、本書は官廳執務上を初め、政治家、實業家、學者、交通、產業、其他苟も朝鮮に關係を有し、朝鮮に

精通せむとする士の須臾も缺くへからざるの
必携書なり
發賣元 京城太平通一丁目
松番克城三〇番 京城日報社代理部

悟道軒圓玉口演

野山嶺があらう。聞いて喜んで、
 尊「佛堂から初めたる十五日
 草「佛堂に飽きるは穢きより無さ
 からだが其れよりは穢きは十五
 うですか。私は、飽やうといふ武
 つた事が大好きなもので、さうで
 せうか。一つお供を願ないもので
 か。又、さうさういふ御師君が山の嶺
 の供をするつてエ邊に往くゆゑが
 お娘が望んで行きそといふなら仲
 間になつて傳達さ。結し御持を
 つてば何より結構で、私共侍の話
 らうございますから、それなら早
 う御承知に罷る。さういふ話を
 で暮六三といふ仲間が御頭へ語
 するこ小僧屋より來た。なにから
 隙を舟港に被り、赤金造の太刀
 を奪ひ、芝毛の太き袴、御被置
 して打掛り、千石は柏木角、遠
 近密に付添ふ人々は、門田三
 郎門平太、膳前式衛門、野田三
 右衛門、安樂興隆、吉田左衛門
 の四三人之助、更にお松、松田十
 八、山崎の人々を引連れて何れも
 技體優れたる家ばかり三十人、
 權力を振舞へて、隙なく、
 をして行く。其外家中に居る
 此人の職や、各々、車馬に至
 まで何れも同様に、御物々々
 を扱へて、足並揃へ、行方なく飛
 出、筑波川に上り、先づ筑波
 祇園に参拜し、其れを以て
 祇園にい處へ回入り、人も道は
 筑波の現山へ入敷を進めて、御物々

京城本町一電一八七番

● 慶州にて 佐々木生
三十日午後二時、鈴木源兵衛を浦頭
から送り出した。予一行は、護兵
隊の警備船で、連日、慶雲に、出掛け、
而も雨を降して、湖の西、山頂の
ドまで進み、行々なる、鰻、漁場、よ、
海水浴、浴場、に、近く、着、す、す、き、鈴木、
防波、堤、の、邊、を、觀、望、した、が、海水、浴、
地、は、實、に、確、有、の、好、適、所、で、甲、
復、た、は、實、に、確、有、の、好、適、所、で、甲、

京城壽町壽

[illegible]

妙雲一行

有樂館
 手代理店
 一社持約
 車成金全五卷
 車の白電一
 乗の白電一
 七人乗の白電一
 七人乗の白電一

助車成金全五卷

云々訪手にて、
手を携へて大
路に上り、
其の邊に於て
一處の山に到
りて、
其の麓に於て
一處の村に到
りて、
其の村に於て
一處の家に到
りて、
其の家に於て
一處の室に到
りて、
其の室に於て
一處の床に到
りて、
其の床に於て
一處の枕に到
りて、
其の枕に於て
一處の被褥に到
りて、
其の被褥に於て
一處の衣類に到
りて、
其の衣類に於て
一處の食料に到
りて、
其の食料に於て
一處の器用な
るものに出で

天は公につて地を以て

五洲壽館

◎玉すだれ
◎掛物数種

輕命の危に際せんとして、
秘法を加へんとする

家吉右衛門一派
初日午後六時より
の御全二場
金の行衛全一塲
藝妓全二場

被てゐる現代自然の邊境を
守つてゐる。行當る七日
庄松田御錫り合せの上
に於て伏面額上候座主

[illegible]

專賣特許

[illegible]

の
ま
ら

感りにわきあはるる
 煙にうかして照るにみづみづし
 其點を廣く印し永久に留む
 長き時だ切の音もなほ
 天は多大である此世は醜狀を
 然に防には惜むるも
 前見の榮
 化應を用ゐる
 わきあはるる
 自它

知される照會文は、人變な參考に

[illegible]

本所は多年講義録にて甲種商業

◎十五形六枚至十二三

◎双眼鏡◎

東馬中眼直も能方成
京人入士に勉はし
京の女は勉はし各
市形小強勉はし各
山典形小強勉はし各
町を馬馬馬馬馬馬
銀行會社社員養成

Figure 1. A schematic diagram of the experimental design. The subjects were divided into two groups: the control group and the experimental group. The control group received a standard training program, while the experimental group received a modified training program. The results of the training program were compared between the two groups.

醫學博士 古川憲治

醫院 內科 小兒科

入院隨

目下可寄明信片
番四二品電

無料施療

每日五名名限

1. **Introduction**
 2. **Background**
 3. **Methodology**
 4. **Results**
 5. **Conclusion**
 6. **References**
 7. **Appendix**
 8. **Index**
 9. **Table of Contents**
 10. **Figure**
 11. **Table**
 12. **Figure**
 13. **Table**
 14. **Figure**
 15. **Table**
 16. **Figure**
 17. **Table**
 18. **Figure**
 19. **Table**
 20. **Figure**
 21. **Table**
 22. **Figure**
 23. **Table**
 24. **Figure**
 25. **Table**
 26. **Figure**
 27. **Table**
 28. **Figure**
 29. **Table**
 30. **Figure**
 31. **Table**
 32. **Figure**
 33. **Table**
 34. **Figure**
 35. **Table**
 36. **Figure**
 37. **Table**
 38. **Figure**
 39. **Table**
 40. **Figure**
 41. **Table**
 42. **Figure**
 43. **Table**
 44. **Figure**
 45. **Table**
 46. **Figure**
 47. **Table**
 48. **Figure**
 49. **Table**
 50. **Figure**
 51. **Table**
 52. **Figure**
 53. **Table**
 54. **Figure**
 55. **Table**
 56. **Figure**
 57. **Table**
 58. **Figure**
 59. **Table**
 60. **Figure**
 61. **Table**
 62. **Figure**
 63. **Table**
 64. **Figure**
 65. **Table**
 66. **Figure**
 67. **Table**
 68. **Figure**
 69. **Table**
 70. **Figure**
 71. **Table**
 72. **Figure**
 73. **Table**
 74. **Figure**
 75. **Table**
 76. **Figure**
 77. **Table**
 78. **Figure**
 79. **Table**
 80. **Figure**
 81. **Table**
 82. **Figure**
 83. **Table**
 84. **Figure**
 85. **Table**
 86. **Figure**
 87. **Table**
 88. **Figure**
 89. **Table**
 90. **Figure**
 91. **Table**
 92. **Figure**
 93. **Table**
 94. **Figure**
 95. **Table**
 96. **Figure**
 97. **Table**
 98. **Figure**
 99. **Table**
 100. **Figure**
 101. **Table**
 102. **Figure**
 103. **Table**
 104. **Figure**
 105. **Table**
 106. **Figure**
 107. **Table**
 108. **Figure**
 109. **Table**
 110. **Figure**
 111. **Table**
 112. **Figure**
 113. **Table**
 114. **Figure**
 115. **Table**
 116. **Figure**
 117. **Table**
 118. **Figure**
 119. **Table**
 120. **Figure**
 121. **Table**
 122. **Figure**
 123. **Table**
 124. **Figure**
 125. **Table**
 126. **Figure**
 127. **Table**
 128. **Figure**
 129. **Table**
 130. **Figure**
 131. **Table**
 132. **Figure**
 133. **Table**
 134. **Figure**
 135. **Table**
 136. **Figure**
 137. **Table**
 138. **Figure**
 139. **Table**
 140. **Figure**
 141. **Table**
 142. **Figure**
 143. **Table**
 144. **Figure**
 145. **Table**
 146. **Figure**
 147. **Table**
 148. **Figure**
 149. **Table**
 150. **Figure**
 151. **Table**
 152. **Figure**
 153. **Table**
 154. **Figure**
 155. **Table**
 156. **Figure**
 157. **Table**
 158. **Figure**
 159. **Table**
 160. **Figure**
 161. **Table**
 162. **Figure**
 163. **Table**
 164. **Figure**
 165. **Table**
 166. **Figure**
 167. **Table**
 168. **Figure**
 169. **Table**
 170. **Figure**
 171. **Table**
 172. **Figure**
 173. **Table**
 174. **Figure**
 175. **Table**
 176. **Figure**
 177. **Table**
 178. **Figure**
 179. **Table**
 180. **Figure**
 181. **Table**
 182. **Figure**
 183. **Table**
 184. **Figure**
 185. **Table**
 186. **Figure**
 187. **Table**
 188. **Figure**
 189. **Table**
 190. **Figure**
 191. **Table**
 192. **Figure**
 193. **Table**
 194. **Figure**
 195. **Table**
 196. **Figure**
 197. **Table**
 198. **Figure**
 199. **Table**
 200. **Figure**
 201. **Table**
 202. **Figure**
 203. **Table**
 204. **Figure**
 205. **Table**
 206. **Figure**
 207. **Table**
 208. **Figure**
 209. **Table**
 210. **Figure**
 211. **Table**
 212. **Figure**
 213. **Table**
 214. **Figure**
 215. **Table**
 216. **Figure**
 217. **Table**
 218. **Figure**
 219. **Table**
 220. **Figure**
 221. **Table**
 222. **Figure**
 223. **Table**
 224. **Figure**
 225. **Table**
 226. **Figure**
 227. **Table**
 228. **Figure**
 229. **Table**
 230. **Figure**
 231. **Table**
 232. **Figure**
 233. **Table**
 234. **Figure**
 235. **Table**
 236. **Figure**
 237. **Table**
 238. **Figure**
 239. **Table**
 240. **Figure**
 241. **Table**
 242. **Figure**
 243. **Table**
 244. **Figure**
 245. **Table**
 246. **Figure**
 247. **Table**
 248. **Figure**
 249. **Table**
 250. **Figure**
 251. **Table**
 252. **Figure**
 253. **Table**
 254. **Figure**
 255. **Table**
 256. **Figure**
 257. **Table**
 258. **Figure**
 259. **Table**
 260. **Figure**
 261. **Table**
 262. **Figure**
 263

船往新陳
國御一報次爲見本進呈
仙臺大町
藤崎吳服店

夏が来ました
休暇が参りまな
海に、山に、
唯一の息み、楽しみは
ツリホン鰯印レコード
他に類のない、新らし
用意が出来まし

七月の新譜が

夏夜 金盞圓二十錢也
 ●竹本津太夫の歌込
 一歌太夫 城木屋の
 ●竹本鶴太夫の歌込
 一同 寺子屋の
 一合 一力茶屋の
 竹本鶴太
 竹本鶴太
 ●虎丸の浪花節

一、護民
阿漕不治

二、説書 四條 暖 岡本松
寛恕 渡邊旭
一、只八寒 中尾都月
一、三神 夜々の星
米川親虎(中尾都月)
△どんな所が吹込まねたのか
環んでわかる七月(報連喜)
▽御注文は茶客の特約店、支店
歌天曲枝支那レコード有之

通鑑纂要卷之六十五

タカチアスターゼは高峰
士發見の方式に據り本會
工場に於て製出せるもの
として胃腸疾患に對する唯
の特効劑なり

五

無煙炭一手販賣廣告

炭質優秀 價格低廉 出炭豐富
水分優劣 二七・四二
灰分優劣 九・八四
揮發量優劣 一〇・五八
發熱量優劣 七三・七〇

本路附近試掘炭の分析にて此の結果なるものなれば現在採掘中のものは

長水院無煙炭粉塊

三城京金貯替擬

市販大 直段大勉強

原料朝子
一等二十
二等十九
三等十八
四等十七
五等十六
六等十五
七等十四
八等十三
九等十二
十等十一
十一等十
十二等九
十三等八
十四等七
十五等六
十六等五
十七等四
十八等三
十九等二
二十等

筋鍛小一圓

商
蠶皮(二打)

耐火煉瓦
 見本進呈
 蠟石煉瓦(三千番より三千四番)
 シヤモツト煉瓦(三千番より三千
 ダイナス煉瓦) マグネシヤ煉
 耐火モルター 其他耐火物多
 橋麗高

多くを論ず
る勿れ
朝鮮のホ
ン



和行日海 刊

謹告

六市常店賣出案高
五拾九萬九千參百五(第一位)
不相變御高底の程厚く御禮申上候
(無代後進)


大阪堂島米穀取引所仲買人

電話三六二五番
三六二五番

Downloaded from <http://ajph.org/> on November 10, 2014

人事周旋業
 萬年社
 京城府明治町武下目
 電話長一八四四番
 平壤京谷商店製
 ▲耐火煉瓦販賣
 京城古市町
 苦米地商店
 電話九四一、三一〇八番
 振替 京城五三番

[illegible]



無佛にして有佛なり。争の報發
 日有ありと聞く、余病み送らず。
 脚か是の語を以て、別れを惜む語
 子的心を諷めんぞ。
 成かるゝい、處へ眼を寄けなすつ
 「そこが困るんぞ。」

讀不如一見

近工場の有る

「我々サクラビ」

龍山三角パ
ルあるのみです

▲豆粕大暴騰 硝石並に

◆態度にて曰く『別に御話師範學校卒業後小學校長郡視學歴任せるが卅九年渡鮮普通學校

度にて曰く『別に御話
師範學校卒業後小學校
感想もない。一體我輩は
歴任せるが卅九年渡鮮

なは一時綿絲布の暴落其他手
綿布商の破綻等に其因せると

況を聞くに女米三萬八千七百九十
五石白米二千七百九十五石中白米
の前では一向に頭が上りなかつた

虎方

對する希望

内務部
宇佐美勝夫

用料及手数料に就て○大小麥優良品種育成○桑田段別○優良家畜蘭の

發行部
東京太平通二丁目
振替京城三〇〇番
京城日報代理部



● 聲樂上から見た日本の唄

義太夫は唄の役者でない芝居
鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい

● 義太夫の唄は唄の役者でない芝居
● 鮮人の唄は内地人より質がよい



● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 清酒値上

● 東京大相撲

● 東京大相撲

● 東京大相撲

● 東京大相撲

● 東京大相撲

● 東京大相撲

● 東京大相撲

● 東京大相撲

● 東京大相撲

● 東京大相撲

● 東京大相撲

● 東京大相撲

● 東京大相撲

● 東京大相撲

● 東京大相撲

● 東京大相撲

● 東京大相撲

● 東京大相撲

● 東京大相撲

● 東京大相撲



● 本夫を殺害

● 本夫を殺害

● 本夫を殺害

● 本夫を殺害

● 本夫を殺害

● 本夫を殺害

● 本夫を殺害

● 本夫を殺害

● 本夫を殺害

● 本夫を殺害

● 大金剛の面目躍如

● 大金剛の面目躍如

● 大金剛の面目躍如

● 大金剛の面目躍如

● 大金剛の面目躍如

● 大金剛の面目躍如

● 大金剛の面目躍如

● 大金剛の面目躍如

● 大金剛の面目躍如

● 大金剛の面目躍如

● 札帳酒優待半額券

他種酒類に比べて大分安価な酒類の紹介
試飲用紙杯つき（各店）

サッポロビール酒造株式有限会社
大日本酒造株式有限会社

● 七夕の話

内藤雪江氏談
七夕の物語は、古くから伝わる民話で、織姫と彦星の恋物語が中心です。このお話は、七夕の由来と、人々の願いを込めた祈りの物語です。

● 割入場券に就て

相模原市本紙新聞社の
優待割引券持参に及ばず
七割引きの場券に就て

● 七割引きの場券に就て

相模原市本紙新聞社の
優待割引券持参に及ばず
七割引きの場券に就て

● 新林病ツヨク

新林病ツヨク
新林病ツヨク
新林病ツヨク

● 小児と自轉車

小児と自轉車
小児と自轉車
小児と自轉車

● 内鮮人衝突

内鮮人衝突
内鮮人衝突
内鮮人衝突

● 徴兵保険株式會社

徴兵保険株式會社
徴兵保険株式會社
徴兵保険株式會社

● 日本銀行

日本銀行
日本銀行
日本銀行

● 日本銀行

日本銀行
日本銀行
日本銀行

● 日本銀行

日本銀行
日本銀行
日本銀行

● 日本銀行

日本銀行
日本銀行
日本銀行

● 日本銀行

日本銀行
日本銀行
日本銀行

● 日本銀行

日本銀行
日本銀行
日本銀行

● 日本銀行

日本銀行
日本銀行
日本銀行

● 日本銀行

日本銀行
日本銀行
日本銀行

● 日本銀行

日本銀行
日本銀行
日本銀行

● 日本銀行

日本銀行
日本銀行
日本銀行

● 日本銀行

日本銀行
日本銀行
日本銀行

● 日本銀行

日本銀行
日本銀行
日本銀行

● 日本銀行

日本銀行
日本銀行
日本銀行

● 日本銀行

日本銀行
日本銀行
日本銀行

● 日本銀行

日本銀行
日本銀行
日本銀行

